

平成29年度 門川町立門川中学校 学校評価書

学校の教育目標	○ 人間尊重を基調として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する				
めざす生徒像	(1) 向上心に燃え、自ら学ぶ生徒(知) (2) 思いやりと奉仕の心のある生徒(徳) (3) 心身ともに健康でたくましい生徒(体)	めざす教師像	(1) 夢をもち、教育愛に燃え、使命感に徹する教師 (2) 自ら研修に努め、実践する教師 (3) 生徒・保護者・地域の人に信頼される教師	めざす学校像	(1) 知性・徳性豊かで生き生きと動いている学校(敬愛) (2) 明るく楽しい学校(協同) (3) 静かで美しい学校(勤労)
重点対策	(1) 学力の向上と読書活動の推進 (2) 特別支援教育の充実 (3) 望ましい人間関係の醸成及び生徒指導の充実 (4) キャリア教育の推進と進路指導の充実 (5) 健康・安全教育の徹底と体力の向上				
評価項目	取組状況	達成状況	学校関係者評価委員会意見	今後の方策	
1 学校経営	○ 学校の教育目標・方針は、地域や生徒の実態を的確に捉え、保護者のニーズを反映したものになっているか。				
学校管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育目標や方針については、入学式、PTA総会、参観日等の場で説明したり、校長室日より、PTA新聞等を配付したりして、保護者等への啓発を行った。 また、全職員の共通理解のもと目標達成に向け取り組んだ。 	<p>保護者への調査結果</p> <p>【学校の教育方針に関心をもつ】 全体 77% 1年 73% 2年 75% 3年 77% 【本校で生活させてよかった】 全体 92% 1年 89% 2年 93% 3年 94%</p> <p>教員の自己評価の結果</p> <p>【生徒は学校生活を楽しんでいる】 H29 3.3 (H28 3.3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 校長室日より「新風」で学校の様子や生徒たちの活躍などをうれしく拝見している。授業参観や学教行事に保護者や地域の積極的な参加が望まれる。 保護者のアンケート結果が昨年よりよくなっていることは、学校と保護者の関係がさらによくなっているところだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育目標や方針については、校長室日より、PTA新聞等を配付したりして、保護者や地域に発信し、広く啓発していく。 	
2 学力向上	○ 生徒は学力を向上させるために、主体的に授業に参加しているか。また、教師は生徒が意欲をもって取り組む授業を実践しているか。				
学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学力向上を図るために、全国学力・学習状況調査やみやざき小中学校学習状況調査等の結果を分析し、特に、平均点以下の生徒の学力向上を目指し、授業改善に取り組んだ。 定期テストに活用問題を取り入れ、生徒の活用する力を養うように工夫した。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査やみやざき小中学校学習状況調査等の結果は、県の平均に達してはいないが、少しずつ県平均との差が小さくなっている。 <p>保護者への調査結果</p> <p>【子どもの学力は向上している】 全体 57% 1年 50% 2年 53% 3年 68%</p> <p>教員の自己評価の結果</p> <p>【生徒の学力は向上している】 H29 2.6 (H28 2.6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上も昨年よりよくなっていることは、先生方の意欲や努力を感じる。県平均の差が少なくなるよう今後の成果を期待する。 期末テスト後の午後の時間を利用し、補充時間を確保してもらえるのはありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学力向上を図るために、全国学力・学習状況調査やみやざき小中学校学習状況調査、NRT、CRT等の結果を分析し、各教科の取組を検証しながら、生徒の学力向上を目指し、授業改善を継続していく。 期末テスト後の午後の時間を活用した補充学習を次年度も継続実践していく。 	
授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 重点支援校として、年3回教育委員会の支援訪問を受け、全教員が研究授業に取り組む、授業力の向上に努めた。 第1回 5月31日(水) 第2回 11月15日(水) 第3回 12月7日(木) 各種学力調査結果の分析や指導方法の工夫改善についての情報交換を行うなどして、教科部会の充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業がわかりやすいと回答した保護者の割合が、昨年度より10ポイント上昇した。特に、3年生で高評価を得ることができた。 <p>保護者への調査結果</p> <p>【授業が分かりやすいか】 全体 63% 1年 57% 2年 63% 3年 70%</p> <p>教員の自己評価の結果</p> <p>【生徒に分かりやすい授業づくりに努めている】 H29 3.1 (H28 3.2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の日頃の努力や創意工夫が見られるが、保護者や地域の人々の考えが聞かれない。 授業に対する心得や落ち着いた雰囲気など、よい環境ができているように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度は重点支援校の指定はないが、二年間取り組んだ授業改善のノウハウを生かし、各教科及び道徳における授業公開を積極的に行っていく。 学習集会や委員会活動を活用して、「授業の五箇条」の徹底や「学びのサイクルボード」を活用した家庭学習の充実を図っていく。 	

3 生徒指導	○ 生徒は、きまりや時間を守り、あいさつをきちんと行うなどの生活態度がしっかりしており、安心・安全に学校生活を送ることができているか。			
生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 毎週、生徒指導委員会を開催し、指導体制を共通理解するとともに、生徒に寄り添う生徒指導の充実に努めた。 生徒会の活性化を図り、各学校行事で、生徒自らが自治的な活動ができるように支援した。 毎月実施している生活アンケートを活用し、生徒が楽しく、学校生活を送れるように努めた。 	<p>保護者への調査結果 【学校は生徒指導に力を入れ、その成果が上がっている】 鉢 67% 俣 61% 俣 62% 俣 78%</p> <p>教員の自己評価の結果 【生徒会活動は充実したものになっている】 H29 3.1 (H28 3.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝 7時 50分までに95%の生徒が登校し、上級生ほど落ち着いた雰囲気です。 	<ul style="list-style-type: none"> 近頃、あいさつをよくしてくれる。ラジオ体操でも進んでリーダーを務めてくれたり、小学生の指導をしてくれたりしてくれた。中学生が地域に溶け込んでくれることは大変うれしい。 生徒がてきばきと行事を運営していく姿にとっても好感がもてた。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会のさらなる活性化のために、教師と生徒がともによりよい学校づくりに取り組んでいく。 Q-U検査の結果を活用し、よりよい学級集団づくりに取り組み、生徒間指導ができるように指導していく。
基本的な生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> 無言清掃の徹底を図り、校内の清掃活動の充実を図っている。 P T Aと連携し、「子どもの成長を支え育む“かどがわ4か条”」に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 無言清掃に取り組むとともに、校内の環境整備を図った。 喫煙、触法行為等を起こす生徒が数名おり、警察やその他の関係機関と密に連携し、保護者や生徒に生活改善指導を行い、安心・安全な学校生活を送れるように配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前より生活態度など、よくなってきている。 日常生活の中であいさつができるように、また、自転車での規則を守り、事故のない楽しい学校生活を送ってほしいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中であいさつができるように、根気強く指導していく。 保護者と連携し、生徒の規範意識を高める取組を行っていく。
4 心の教育	○ 誰にでも思いやりをもち、人権感覚を高めるための指導や、いじめや差別は何があっても絶対に許さないという、心の教育に力を入れているか。			
望ましい人間関係などの心の教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の時間や学級活動などを通して、心で考える大切さを学ばせ、実践できる力を身に付けさせる指導を行った。 人権教育の時間を設定し、一人一人の人権感覚を高める取組を行った。 道徳の授業研究に取り組み、「特別の教科 道徳」の在り方を研究し、町内の小・中学校に公開する。 	<p>保護者への調査結果 【学校は人権教育の推進に力を入れている】 鉢 74% 俣 70% 俣 75% 俣 77%</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員研修で、Q-U検査の分析や活用方法について研修し、学級の生徒の状況を把握し、指導に生かした。 道徳の授業で心情円盤やグループ協議を取り入れ、生徒の道徳性を高める工夫をした。 	<ul style="list-style-type: none"> 8月の「人権啓発強調月間」、12月の「人権週間」など、マスコミやテレビで取り上げられるので、家族で話し合うよい機会だと思う。 思いやりの心を家庭や学校でも常に考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育の年間指導計画を整備し、計画的に人権教育に取り組む体制を作る。 道徳の授業研究を継続し、「特別の教科 道徳」の目指す道徳の授業づくりに取り組んでいく。
5 地域社会との連携	○ 学校行事等を通して、地域社会や家庭等と連携を図りながら、地域の方々や保護者から信頼されるよう、開かれた学校として機能しているか。また、地域の人材を学校行事や教科指導等において積極的に活用しているか。			
地域社会との連携を図り、開かれた学校としての機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> P T A総会、参観日、参観週間、家庭訪問、地区懇談会、各種通信等を通して、学校の教育目標や方針、教育活動等について、保護者や地域社会への啓発を行った。 地域人材を活用し、地域体験学習や職場体験学習、ボランティアによる読み聞かせを実施した。 1年生の数学に、地域の数学支援ボランティアの協力をいただき、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っている。 	<p>保護者への調査結果 【学校は保護者とのコミュニケーションを大切にしている】 鉢 74% 俣 74% 俣 72% 俣 77%</p> <p>【学校は地域活動へ積極的に参加し、地域との連携を密に図ろうとしている】 鉢 76% 俣 70% 俣 75% 俣 81%</p> <p>【学校は、保護者および地域社会に信頼されている】 鉢 77% 俣 69% 俣 77% 俣 86%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校ボランティア等、地域の人材を学校で生かす活動を今後も続けてほしい。 地域の行事などにも積極的に協力しながら、理解を深めていけたらよい。 職場体験受入が59か所ということは、十分に地域との連携が図られている証だと思う。 少しずつ学校全体がよい方向へ進んでいると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育週間を設定し、「ようこそ先輩・よろしく先輩」に取り組みながら地域との連携を深め、地域の企業や人材を活用した体験学習に取り組んでいく。 地域の数学支援ボランティア(励まし隊)を活用して、1年生の数学における基礎的・基本的な学習内容の定着を図っていく。